



令和3年2月12日

「令和3年度当初予算」を編成

🌀 新型コロナウイルス危機を乗り越え復活する「不死鳥“燕”」 🌀

燕市の一般会計当初予算の総額は、399億7,900万円となりました。

総額から、借入額と返済額を同額で計上している借換債を除く実質的な予算額は354億9,525万円、経済対策等国の補正予算による繰越事業9億6,897万円を合わせた執行ベースの予算規模は364億6,422万円であり、ともに直近5年間で最も大きい予算規模となっています。なお、執行ベースの予算規模のうち、新型コロナウイルス感染症対策関連経費は15億6,428万円となっています。

【令和3年度燕市当初予算の規模】 ※（ ）内は前年度との比較

◆一般会計---399億7,900万円（2億7,700万円の減：▲0.7%）

*借換債を除く実質的な予算規模

---354億9,525万円（12億1,930万円の増：3.6%）

*国の補正予算（繰越事業）と合わせた執行ベースでの予算規模

---364億6,422万円（16億8,800万円の増：4.9%）

《一般会計当初予算の過去5年間の推移》

年度	当初予算額	実質的な予算規模	執行ベース予算規模
令和3年度	399億7,900万円	354億9,525万円	364億6,422万円
令和2年度	402億5,600万円	342億7,595万円	347億7,622万円
令和元年度	407億4,400万円	321億1,105万円	329億7,267万円
平成30年度	397億8,000万円	339億5,206万円	340億8,944万円
平成29年度	382億1,100万円	317億4,304万円	352億2,108万円

*（当初予算額）（借換債）（実質的な予算規模）
399億7,900万円 - 44億8,375万円 = 354億9,525万円

*（実質的な予算規模）（国補正予算）（執行ベース予算規模）
 354億9,525万円 + 9億6,897万円 = 364億6,422万円

◆特別会計（4会計）総額---167億7,307万円

会計名	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
国民健康保険	70億1,346万円	72億2,712万円	△2億1,366万円	△3.0%
後期高齢者医療	9億5,171万円	9億4,190万円	981万円	1.0%
介護保険事業	87億3,767万円	87億8,484万円	△4,717万円	△0.5%
土地取得	7,023万円	7,023万円	-	0.0%
計	167億7,307万円	170億2,409万円	△2億5,102万円	△1.5%

【令和3年度当初予算の重点施策と主な新規・拡充事業】

ウィズコロナそしてアフターコロナを念頭に置いて、感染症対策を継続しつつ、時代の変化を捉えたDX（デジタルトランスフォーメーション）推進、地方創生に取り組む下記の3つの重点施策を展開し「日本一輝いているまち」を目指します。

<重点施策>

① フェニックス11+の継続で乗り切るウィズコロナ

<新規> 市民向けPCR検査費用助成事業	500万円
<新規> 市内企業感染症リスク管理支援事業	1,008万円
(繰) <新規> 小中学校感染症対策施設改修等事業	4億6,571万円 など

② アフターコロナを見据えた地域社会のDX推進

<新規> 育児教室・育児相談会（オンライン相談）	258万円
<新規> 健康診査等予約システムの導入	875万円
<新規> キャッシュレス決済の導入	7万円
<新規> オンライン申請の推進	114万円
<新規> 中小企業DX推進支援事業	3,703万円 など

③ 「ピンチをチャンスに」新たな地方創生で地域活性化

(重) <新規> 生産拠点整備補助制度の新設	1,000万円
生産拠点の分散等に対応し、5億円以上の大規模な工場建設等設備投資への補助制度を新設します。	
(重) <新規> イノベーション拠点整備支援事業	1億1,087万円
首都圏企業のテレワーク等に対応したシェアオフィス等の開設を支援する補助制度を新設します。	
(重) <拡充> つばめ移住・定住促進事業	2,280万円
新たに滞在型おためし生活体験を実施するとともに、テレワーカーへの交通費補助制度を新設します。	
(重) <新規> 中心市街地再生モデル事業	515万円
民間事業者から空き家解体を伴う中心市街地再生プランを募集し、官民連携のまちづくりを推進します。	
(重) <新規> 情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト	533万円
学力向上や学ぶ意欲の土台となる「読解力」を育成することに主眼を置いて授業の改善を行います。	
(重) <新規> 全天候型子ども遊戯施設整備事業	100万円
季節に関わらず子どもたちが体を使って遊べる屋内遊戯施設の整備に向けて基本構想を策定します。	
(重) <新規> 大河津分水通水100周年記念プレ事業	1,583万円 など
令和4年度の大河津分水通水100周年に先立ち、イベント等を通じて気運の醸成を図ります。	

<主な新規・拡充事業>

1 定住人口増戦略 ～住みたい・働きたいと思う人を増やす～

(重) <新規> 看護職員修学資金貸付事業	301万円
看護師不足解消を図るため、県等と連携し看護師を目指す学生へ就学資金を貸し付けます。	

2 活動人口増戦略 ～キラキラ輝く人を増やす～

(重) <新規> ワンコインがん検診の開始	1億446万円
検診の受診率向上を図るため、自己負担一律500円のワンコインがん検診を開始します。	

3 交流・応援（燕）人口増戦略 ～訪れたい・応援したいと思う人を増やす～

(重) <拡充> シティプロモーション事業	1,700万円
リニューアルした公式ウェブサイトやSNS、地域活性化起業人による情報発信を強化します。	

(重)：重点事業
(繰)：令和2年度繰越事業

本件についての
お問い合わせ先

企画財政部 企画財政課：鈴木、小杉
電話：0256-77-8356（直通）